

3. 内容をまとめよう。

② 文芸と美術

(1) 文芸

a イタリア

- (9)…『神曲』: ラテン語ではなく口語(イタリアのトスカナ語)で書く
- ペトラルカ…『(10)』: 古代ローマをたたえる
- (11)…『デカメロン』: 近代小説の原型, 風刺的短編小説
- (12)…『君主論』: 政治を宗教・道徳から切り離す近代的政治観

b ネーデルラント

- (13)…『愚神礼賛』: 最大のヒューマニスト, カトリックの腐敗を風刺

c フランス

- (14)…『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』: 因習を風刺
- モンテーニュ…『(15) (随想録)』: 自己を見つめ, 人間性を追求

d スペイン

- セルバンテス…『(16)』: スペイン社会の矛盾を風刺

e イギリス

- チョーサー…『(17)』: イギリス=ルネサンスの先駆
- (18)…『ユートピア』: 囲い込みなどイギリス社会の矛盾を批判
- (19)…『ヴェニス商人』『ハムレット』: エリザベス朝期最大の作家

(2) 美術

- a 絵画…15世紀前半に(20)法確立→写実主義の基礎

- b 建築…古代ローマ建築の要素を取り入れ, 大ドームを持つ(21)様式

c イタリア

- (22)…「聖フランチェスコの生涯」: 近代イタリア絵画の祖
- ドナテルロ…「聖ジョルジオ像」: ルネサンス様式を確立した彫刻家
- (23)…サンタ=マリア大聖堂ドーム: 初期ルネサンスの建築家
- (24)…サン=ピエトロ大聖堂: ルネサンス期最大の建築家
- (25)…「ヴィーナスの誕生」「春」: メディチ家の保護, 女性美を描く
- (26)…「最後の晩餐」「モナ=リザ」: 絵画のほか, 解剖学など自然諸科学と応用技術にも才能を発揮, 万能の天才
- (27)…「ダヴィデ像」「ピエタ」「天地創造」「最後の審判」: 彫刻家・画家・建築家, サン=ピエトロ大聖堂建築にも関わる
- ラファエロ…多くの(28)像: (26)・(27)とともにルネサンスの三大巨匠

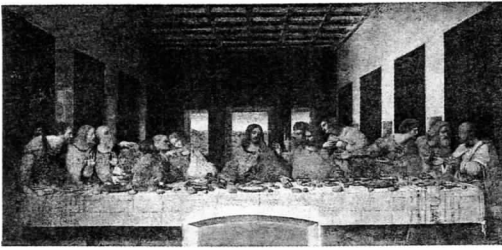
d ネーデルラント

- (29)…ガン(ヘント)の祭壇画: フランドル派を開き, 油絵技法を改良
- ブリュゲル…「(30)」: 農民の姿や自然を写實的に表現

e ドイツ

- デューラー…「(31)」: 深い精神性を感じさせる画風, 版画も残す
- (32)…「エラスムス像」: 英王ヘンリ8世の宮廷画家

整理



(a)



(b)



(c)

a
b
c

a～c：作者名

□科学と技術 (教科書 P.208)

1. 空欄を埋めながら教科書を読んでみよう。

科学と技術

大航海とルネサンスの時代には、科学の新しい考え方がうまれた。
16世紀前半、ポーランド人①_____は、古代
の天文学に刺激されて②_____説をとねえ、聖書の天地創造説話に基づいて天動
説をとっていた教会の世界観に挑戦した。この時期にはまた、技術面でも重要な改
良・実用化がおこなわれ、ヨーロッパの社会に大きな影響を与えることになったが、
そうした技術はいずれも、もともとは中国で発明されていたものであった。

③_____は中国の宋で知られていたが、14世紀のイタリアで改良され、天
文学や海図製作の発達とあいまって、遠洋航海を可能にした。火薬もすでに元で実
戦にもちいられていたが、その後ヨーロッパで鉄砲や大砲などの④_____が発達
して、従来の戦術を一変させ、⑤_____が没落することになった。さらに、15世
紀半ば頃ドイツ人⑥_____が改良した⑦_____印刷術は、
製紙法の伝播と結びついて、書物の製作を従来の写本よりもはるかに迅速・安価な
ものとし、新しい思想の普及に大きく貢献した。

2. 内容をまとめよう。

③ 科学と技術

- (1)科学精神…16世紀前半、ポーランド人(33)が地動説をとねえ、天動説をとる
教会の世界観に挑戦
- (2)技術の改良と実用化…もともとは中国での発明
- a 羅針盤…遠洋航海を可能にする
- b 火薬…鉄砲や大砲などの火器が発達→戦術を一変させ、(34)が没落
- c 活版印刷術…15世紀半ば、ドイツ人(35)が改良→製紙法の伝播と結びつき、
書物の製作が迅速・安価となる→新しい思想の普及に貢献

33

34

35

(「再生」の意味)で、およそ14世紀から16世紀にわたってヨーロッパ各地に広まった。

①.....は近現代につながる文化の出発という側面から理解される
ことが多いが、②.....の文化の継承・発展という面もある。

③.....教会の權威のもとにあった中世盛期の文化とくらべて、
①.....では現世に生きる楽しみや理性・感情の活動がより重視さ
れたが、これを支えたのが④.....、すなわち人文主義(人
間主義)の思想である。人文主義の立場をとる知識人(ヒューマニスト)は、おもに
ビザンツ帝国[ビザンツ帝国の学者たちがオスマン帝国の脅威の前にイタリアに移ってギリシア
語の知識を広めたことが、古典研究発展の一つのきっかけとなった]や⑤.....
圏を介して西ヨーロッパに伝えられた⑥.....の古典
文化を深く研究することで、人間らしい生き方を追求しようとした。また、フィレ
ンツェの⑦.....は『君主論』を書いて、政治を宗教・道徳か
ら切り離す近代的な政治観を提示した。

ルネサンスは、地中海貿易の盛んなイタリアや、南北ヨーロッパ商業の中継地と
して毛織物工業が成長した⑧.....ではやくから展開した
が、まもなくほかの国々にも広まった。ルネサンス期の学者や芸術家は都市に住む
教養人で、その多くは権力者の保護のもとで活動した。イタリアでは、フィレンツ
ェの金融財閥⑨.....家やミラノ公、ローマ教皇などがルネサンスの保
護者として知られ、イギリス・フランス・スペインでは⑩.....の保護下にルネ
サンス文化が栄えた。そのため、ルネサンスは⑪.....的性格をおび、既存の政
治・教会・社会体制を正面から批判する力とはならなかった。

2. 内容をまとめよう。

① ルネサンスの本質	
1.....	(1)ルネサンス…「(1)」の意味 a 中世の文化を引き継ぎながら、人間性の自由・解放を求め、各人の個性を尊重 しようとする文化運動 b 14～16世紀にわたってヨーロッパ各地に広まる
2.....	(2)ルネサンスの根本精神…(2)(人文主義) a 現世に生きる楽しみや理性・感情の活動を重視 b ヒューマニストはビザンツ帝国やイスラーム圏を介して伝えられた(3)・ (4)の古典文化を研究→人間らしい生き方を追求
3.....	(3)ルネサンスの限界 a 地中海貿易の盛んなイタリアや、毛織物工業の成長した(5)などから展開 b 学者・芸術家は都市に住む知識人、多くは権力者の保護のもとで活動 →ルネサンスは(6)性格をおび、既存の政治・教会・社会体制を批判す る力にならず
4.....	
5.....	c イタリアではフィレンツェの(7)家やミラノ公、(8)など、イギリ ス・フランス・スペインでは国王がルネサンスの保護者
6.....	
7.....	
8.....	

□文芸と美術（教科書 P.206）

1. 空欄を埋めながら教科書を読んでみよう。

文芸と美術 ルネサンス文芸は、古代ローマの伝統が強かったイタリアでまず展開した。イタリアには、『神曲』で知られる詩人①
 [フィレンツェ生まれの①]は、『神曲』をラテン語でなく口語(イタリアのトスカナ語)で書いた②
 ③が『カンタベリ物語』を著した。16世紀頃になると、ネーデルラントの人文主義者④の『愚神礼賛』をはじめ、社会を風刺する作品が多く書かれ、各国の国民文化が形成されていった。イギリスで16世紀末から17世紀初めに活躍した⑤の戯曲をはじめとして、すぐれた文芸作品は、それぞれの国の言語を発達させるのに貢献した。
 絵画でもイタリアに新しい動きがおこり、15世紀前半には⑥法の確立により、近代絵画の基調である写実主義の基礎がすえられた。建築の領域では古代ローマ建築の要素を取り入れて、大ドームをもったルネサンス様式が生まれ、16世紀にはローマの⑦大聖堂が新築された。彫刻家では「ダヴィデ像」の制作者で、⑧大聖堂の建築にも関わった⑨が知られる。ルネサンスの理想であった「万能人」の典型ともいえる⑩は絵画のほか、解剖学をはじめ自然諸科学と応用技術にも才能を示した。また、多くの聖母子像を描いた⑪は、この2人とともにルネサンスの三大巨匠に数えられている。ネーデルラントでは、油絵の技法を改良した⑫兄弟がフランドル派を開き、ドイツの⑬は版画も多数残した。

2. 表でまとめよう。(教科書 P.208)

ルネサンス期の文芸と美術		伊=イタリア 英=イギリス 仏=フランス 西=スペイン 独=ドイツ	
【文芸】		【美術】	
ダンテ(伊)…『神曲』		⑤(伊)…『聖フランチェスコの生涯』	
ペトラルカ(伊)…『叙情詩集』		ファン=アイク兄弟(ネーデルラント)…ガン(ヘント)の祭壇画	
ボッカチオ(伊)…『①』		ドナテルロ(伊)…『聖ジョルジオ像』	
チョーサー(英)…『カンタベリ物語』		⑥(伊)…サンタ=マリア大聖堂ドーム	
エラスムス(ネーデルラント)…『愚神礼賛』		⑦(伊)…サン=ピエトロ大聖堂	
トマス=モア(英)…『②』		⑧(伊)…『ヴィーナスの誕生』「春」	
ラブレ(仏)…『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』		レオナルド=ダ=ヴィンチ(伊)…『⑨』「モナ=リザ」	
③(仏)…『エッセー(随想録)』		デューラー(独)…自画像「四人の使徒」	
④(西)…『ドン=キホーテ』		ミケランジェロ(伊)…『ダヴィデ像』「最後の審判」	
シェークスピア(英)…『ヴェニスの商人』		ラファエロ(伊)…聖母子像	
『ハムレット』		⑩(ネーデルラント)…『子どもの遊び』	
		『農民の踊り』	